



平成 28 年 7 月 5 日

各 位

会 社 名 トモニホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長兼CEO 遠山 誠司
(コード番号 8600 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 高橋 邦明
(TEL. 087-812-0102)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）及び通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日） (百万円)

		経常利益	親会社株主に帰属する 中間純利益
前回予想	(A)	5,700	3,650
今回修正予想	(B)	5,700	18,499
増減額	(B-A)	0	14,849
増減率	(%)	0.0	406.8
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)		6,603	4,106

(2) 平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日） (百万円)

		経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回予想	(A)	11,400	7,400
今回修正予想	(B)	11,400	22,249
増減額	(B-A)	0	14,849
増減率	(%)	0.0	200.6
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)		13,070	7,931

2. 修正の理由

当社は、平成 28 年 4 月 1 日付で、当社を株式交換完全親会社、株式会社大正銀行を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を行いました。本株式交換に伴い、企業結合に関する会計基準に基づくパーチェス法による会計処理を行うことにより、「負ののれん」として 14,849 百万円が発生し、平成 29 年 3 月期第 1 四半期において、その償却（一括償却）による「負ののれん発生益」14,849 百万円を特別利益に計上する見込みであります。これに伴いまして、親会社株主に帰属する中間純利益及び当期純利益の予想数値を上方修正するものであります。なお、この特別利益は、本株式交換に伴う会計上の利益であり、今年度のみ発生するものであります。

また、当社の子会社である株式会社徳島銀行、株式会社香川銀行及び株式会社大正銀行については、本件に伴う業績予想の修正はありません。

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。